

# “非核・平和を祈念する市民の集い”

「核拡大抑止論」では平和をつくれない！

「核兵器禁止条約」の署名・批准で、平和な北東アジアを！

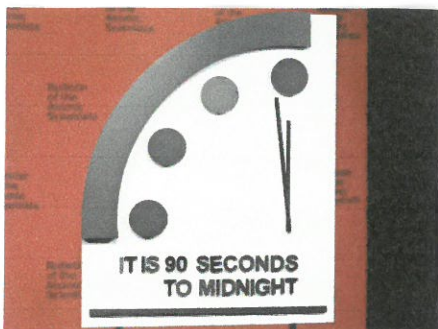
ヒロシマ・ナガサキに核爆弾が落されてから 78 年目。暑い日ざしの中、鎌ヶ谷市“総合福祉保健センター”の入り口にある広島に被爆した敷石モニュメントの前(8/6)と、庁舎玄関前の“かたぐるま”像の前(8/9)で非核平和を祈念する市民の集いが行われました。

「非核平和都市宣言」を宣言し、峠三吉の原爆詩集から、憲法ソング(日弁連)に選ばれた小学 1 年生尾池ひかりさんの「ひいばあちゃん」の詩が朗読され、黙祷・献花。広島で被爆された小中武志さん、市民、議員等の発言がありました。

小中さんはこれまでも多くの生徒さんに語り部としてヒロシマの原爆の実相を語っています。8/6 当日も原爆の持つ 3 つの脅威“6000 度の熱線”・“爆風”・“放射能”の恐ろしさを話しました。爆発後熱線に焼かれ、爆風で壊れた街の中を水を求めて歩く多くの人々。そして川の中に入っていき命絶える地獄のような様子を話しました。



非人道的な兵器原爆はもう人間が使ってはいけない兵器・・・なのに現実には世界に 12000 発以上の核爆弾が存在し、ウクライナをはじめ多くの地域で戦争が遂行されている。核戦争への危機は増大している。



米科学誌「原子力科学者会報」では、人類滅亡までの時間“終末時計”の残り時間を『90 秒』と発表されています。1947 年以降最も短くなっています。

5 月広島で日本の岸田首相が議長となって G7 サミットが開かれました。多くの人々は世界で最初に原爆が落とされた広島での会議なのだから核廃絶への道筋を示してもらいたいと願いました。

しかし現実には広島で出された G7 の「広島ビジョン」は“G7 の核抑止力の正当化”だけでしかなかった。更にウクライナ戦争の停戦への働きかけはなく、ゼレンスキへの軍事的全面支援と米国からの F16 戦闘機をはじめ 517 億円の武器供与の約束でした。

サーロー節子さんは「死者に対する侮辱だ」と。広島元市長平岡さんは「核抑止力の維持の重要性が強調された。核と戦争を否定してきた広島がその舞台として利用された」と厳しく批判しました。

ロシアのウクライナへの侵攻、ウクライナ戦争を一日も早く止めるのではなくウクライナ戦争へ兵器をどんどん注ぎこんでいる現実・・・

東アジアでは、まるで中国が台湾を軍事攻撃することが規定事実であるかのように話され(米国と日本が言いまくっている)、日本は米国の対中国軍事戦略(日米共同



作戦計画・米海兵隊の EABO)にどっぷり乗る形でミサイル基地の建設・敵基地攻撃能力の保有・5年間で43兆円&GDP2%の軍事費と戦争経済・政治・社会に向かって走り出しています。「台湾有事」の虚偽性、「台湾有事は日本の有事」の違法性・違憲性が明らかなのに。

土地規正法の施行では自衛隊・米軍基地など重要施設周辺から1km圏内の住民の動きが施設の機能阻害行為であるかどうかを調査し規制することがはじまりました。

経済活動についても安全保障上の、“対中国はずしの米国覇権世界戦略”に乗って“セキュリテイ・クリアランス”が求められ始めてます。法整備が準備されています。



非核平和の社会を創るためには、

まずは「核兵器禁止条約」に署名・批准し核兵器のない世界秩序を作っていくことです。

又、国として核抑止力論の幻想から目を覚ますべきです。“安全保障のシレンマ”を知りながら相手よりもより強大な軍事力を持つと考える抑止論を捨てることです。

国民一人ひとりの平和主義の内実が問われます。「あなたは軍事力で平和をつくりますか?それとも平和的手段で平和を構築していきますか?」

核の傘に安住することは核兵器を認めることなのです。どうあなたの一步を踏み出しますか。

今年も3200羽の千羽鶴を飾ることが出来ました。《後ほど鎌ヶ谷市によって広島の平和公園に送られます》



毎年一つ一つ非核平和を祈念して折ってくださるおばあさま、おじいちゃん、そして小さなお子さんが折った鶴が千羽鶴になるのです。

一人ひとりの思いは小さくとも無力ではありません。ちいさな火花も広野を焼き尽くすのです。熱い熱い平和への思いで核兵器を廃絶し平和な日本・東アジアを創っていきましょう。